

Junior Skills「アイチータ杯2024」 中学生の部 競技ルール (プレゼンテーション部門)

アイチャタ杯2024競技ルール(プレゼンテーション部門)概要

ロボットの製作コンセプトやチームの戦略などをわかりやすく他者に伝える力(プレゼンテーション能力)を競い合い、優れたチームを表彰します。

◆ 内容

- ① 製作したロボット(プログラミング含む)や立案した戦略を簡潔に説明すること。特に、工夫した点(アピールポイント)や苦勞した点について発表すること。
- ② ロボットや戦略を作り上げるにあたって、生じた課題やその解決方法、チームで努力した点などを簡潔に説明すること。

◆ 時間

5分(プレゼンテーション3分＋質疑応答2分)

◆ 方法

Microsoft PowerPointで作成したプレゼンテーション資料を会場のスクリーンに投影し、プレゼンテーションを実施すること。

アイチータ杯2024競技ルール(プレゼンテーション部門)評価項目

評価項目（配点）		評価内容
戦略性/アイディア （20点）	戦略性	何を狙い、どのようなロボット、プログラムを構築することにしたのか
	独自性	チーム独自の考え方があるか
	論理性	立案した戦略やアイディアを実現するために必要な工夫点があるか 製作したロボットや立案した戦略の特長がわかるものとなっているか
アプローチ/ チャレンジ手法 （20点）	整合性	製作したロボットやプログラムは、立案した戦略やアイディアに沿ったものとなっているか
	課題解決経験	ロボットやプログラム開発にあたり、生じた課題をどのように解決し、本番に臨んでいるか
表現力 （10点）	わかりやすさ	周りの人に伝わるような内容になっているか
	説得力	熱意にあふれ、説得力を感じる話し方になっているか
	言語化能力	戦略やアイディア、製作したロボットやプログラムの特長を的確に言葉にできているか
	見やすさ	見やすく、筋道立てて構成、記載されているか

アイチャタ杯2024競技ルール(プレゼンテーション部門)補足事項

1. 1チームプレゼンテーションを3分、その後審査員からの質疑応答を2分、合計5分で行ない、プレゼンテーションの時間である3分を超えた場合には途中であっても発表は終了となる。3分以内にプレゼンテーションを終了した場合にはその時間を質疑応答時間に加える。
2. 審査員は3名とし、各審査員がプレゼンテーションの内容について得点をつけ、3名の審査員による得点の合計点が高いチームから順位づけをする。同点のチームが複数現れた場合には審査員で協議を行い順位を決定する。
3. プレゼンテーション資料を提示するPCに関しては大会事務局で準備する。
4. プレゼンテーション資料はWindows10のMicrosoft PowerPoint2013以降のバージョンで動作するように作成を行うこと。なお、ファイル名はチーム名とすること。
(【チーム名】.pptxなど)
5. プレゼンテーションの資料は競技会当日の受付時に大会事務局へUSBメモリにて提出を行うこと。USBメモリ提出後、大会事務局の操作により資料を提示するPC内にコピーを行う。
6. プレゼンテーション時の資料を提示するPCの操作は発表チームで行うこと。